

浜松市生活支援体制づくり協議体（第2層、和地圏域） 第1回会議 議事録

開催日時	令和2年6月23日（火）13時30分から15時まで
参加者	委員：11人 事務局：2人 その他：9人（高齢者福祉課：1人、介護保険課：1人、障害保健福祉課：1人、西区長寿保険課：1人、包括支援センター：3人、市社協地域支援課：2人）
場所	庄内協働センター ホール
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 全委員、全関係機関自己紹介</p> <p>4. 副会長選任 副会長に退任に伴い選任を行った</p> <p>5. 協議体会議振り返り 令和元年度の協議体会議においてあがった検討課題や意見等について報告</p> <p>6. 他地区の事例紹介・雄踏圏域の高齢化率の認識</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が孤独や不安に苛まれないように工夫した安否確認等の活動を紹介 ・神久呂地区作成「なんでも相談」のマグネットについて紹介 ・商店で行う配食サービスの事例（西区舞阪町）紹介 <p>7. 意見交換</p> <p> <u>テーマ①各地区における地域福祉活動の近況と今年度の見通しについて</u> 各地区社協のサロンや事業、家事支援等の状況について各地区社協担当者から状況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事支援活動についてはコロナの自粛期間中の家事支援に関する課題 ・非常時の支援の必要性について認識 ・高齢者世帯へのポスティング活動について共通認識を行う <p> <u>テーマ②包括支援センター、市社協、行政に寄せられる相談について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ自粛期間中の各機関へ入った相談内容について報告。 ・各機関相談内容は異なるも、自粛生活における収入減少や、各種手続き方法等の不安に対する相談、介護予防教室再開の目途については増加傾向にあった。 <p> <u>テーマ③自粛期間の中でみえてきたことについて</u> 民生委員、自治会より毎日の生活の中で気が付いたことについて意見交換</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者世帯へのチラシのポスティング活動を実施し、民生委員による見守り活動の理解と、更には高齢者の安心へとつながる機会となった。 ・活動が再開された時にいつでも活動再開会できる状況にするため、地域活動の見直しや評価、点検の必要性を認識。

	<p>8. 意見まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ①見守り活動の重要性（訪問自粛中も見守りされている安心感につながる） ②地域住民が地域を見直す機会につながった <p>9. 【次回協議体会議開催時期】 令和2年9月末～10月初旬頃</p> <p>10. 【閉会】</p>
<p>今後の見通し等</p>	<p>第1回目の協議体会議はコロナ禍の中での地域活動についての見直しや気づきをテーマとした意見交換とした。第2回目より、昨年度の協議事項や課題について再度検討を進めるよう支援を行いたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動の可能性を含めた、社会福祉法人や企業、NPO等に対する協議体への参画への呼びかけ活動についても協議体会議の中で検討していきたい。 （お買い物バスを実施している企業への協議体会議参画働きかけ） ・各地区の活動検討（新しい生活様式を取り入れた地域活動の検討） 各地区で検討を行った課題等について、グループワークを行い、協議体への理解や助け合いの必要性を理解してもらえよう継続的な働きかけを行いたい。